

平成23年度 地域づくり総合支援事業 (サポート事業)

平成23年度に実施された
『地域づくり総合支援事業
(サポート事業)』の
実績を紹介します！



みなもん

《一般枠:その他の地域》

新規事業



「行って!みっぺ!!白河」 首都圏マスコミ・エージェント白河まるごと体験事業

【事業団体】 財団法人白河観光物産協会（白河市）

【事業内容】 震災や風評被害で激減した観光客を呼び込むため、首都圏等のマスコミ関係者、旅行会社の担当者を白河地方に招へいし、観光地の安全性を体験してもらいPRを行った。また、招へい者の意見を収集し、着地型旅行商品開発や、雑誌記事掲載への依頼をした。



- 招へい時期 平成23年10月21日~22日
- 招へい対象者 首都圏マスコミ関係者・旅行会社企画担当者
- 内 容 白河地方の主だった見所と震災の影響についての紹介、着地型旅行商品案の体験、白河地方の食材の試食等



《街なか散策》



《甲冑体験》



《白河だるまの絵付け体験》

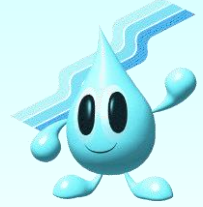
新規事業

戊辰東北戦争研究事業

【事業団体】 戊辰東北戦争研究会（白河市）

【事業内容】 「戊辰戦争白河口の戦い」に着目し、その歴史的認識を高め、震災した東北復興のシンボリックな新たな観光地にできるようPRした。そのため、二本松や会津での戊辰戦争関連に関する資料の展示や、講演会を開催し、福島県の広域的なPR活動を行った。

- 「白河口の戦い資料展」の常時開催
- 「白河口の戦いに関する講演会」開催(平成23年10月19日)
講師:浅田 次郎 氏、演題「新撰組とその時代」
- 「白河口の戦い慰霊碑マップ(戊辰白河口の戦い)」の作成(10,000部)



《白河口の戦い資料展》



《浅田次郎氏講演会》



《「戊辰白河口の戦い」マップ》

新規事業

陽はまた昇るプロジェクト

【事業団体】 白河商工会議所青年部（白河市）

【事業内容】 1年を通して市民に明るさを、そして風評被害等による地場産品の低迷を払拭するため、3つの事業を行った。

- 「ぼくらの課外授業～ザ・チャレンジ～」平成23年7月30日(土)
“食育”をテーマに子供達(白河市内の小・中・高校生対象)に料理教室を通じて、地場産食材の現状や、これからの白河に何が必要か学んだ。
- 「しらかわSOUL(魂)フェスティバル」平成23年8月6日(土)・7日(日)
地場産の飲食会や販売、ダルライザーショー他各種演芸披露、キャンドル点灯式
- 「Ust+白河を利用した企業PR」平成23年10月から
風評被害払拭のため、インターネットを使い復興のためのPR活動を行った。



《ぼくらの課外授業》



《しらかわSOUL(魂)フェスティバル》



新規事業

白河関まつり 東日本大震災復興祈願 「夏・元気・踊り三昧」

【事業団体】 白河まつり振興会（白河市）

【事業内容】 白河の震災犠牲者鎮魂のため、追悼の花火(空砲)を打ち上げるとともに、これまで途絶えてきた白河関の踊り流しを復活させるイベントを全国のよさこい団体や阿波踊り団体を招いて開催した。

- 開催日:平成23年8月7日(日)
- 会場:白河市中町
- 内容:◇白河関の踊り流し、全国のよさこい団体・阿波踊り団体による演舞
◇東日本大震災追悼花火打ち上げ



《踊り流しの様子》

新規事業

ふくしまで野菜を作るプロジェクト

【事業団体】 表郷いいもの開発協議会（白河市）

【事業内容】 白河で「農業体験」をしたいという首都圏等の方々を対象として、遊休農地を活用した市民農園を開設し、「農業体験」を通して農産物の安全性の理解を深めてもらう活動を行った。

- 市民農園(クラインガルテン)体験会員を募集、首都圏・市内から延べ90名参加
- サツマイモ堀り体験・野菜収穫体験・漬物作り体験・芋煮会など計4回実施



《サツマイモ堀り体験》



《野菜収穫体験》



《漬物体験》

新規事業



映画が町を興す。 「県南の光、福島之光プロジェクト」

【事業団体】 NPO 法人カルチャーネットワーク（白河市）

【事業内容】 福島を元気にする活動として、県南地方をメインロケ地として制作された映画「トテチータ・チキチータ」に併せて、映画作りを体験する「ワークショップ」を開催し、映画製作に実際に参加することにより、地域の絆を強めた。完成した作品は、県南地方7箇所で行った先行上映会を行い、福島の映像を通して、震災により傷ついた人々の心を癒し、感動を与えることができた。



《ワークショップ受講風景》



《先行上映会舞台挨拶》



《ポスター》

新規事業



しらかわの匠と伝統の技展 「がんばるぞ！白河 食と職の市」

【事業団体】 しらかわ食と職の祭典実行委員会（白河市）

【事業内容】 震災により地場産業が厳しい状況にあることを踏まえ、「しらかわの匠と伝統の技」をテーマに、「ものづくり」に焦点をあてた「食と職の市」を開催した。

○ 開催日:平成23年10月29日(土)、30日(日)

○ 会場:白河駅前イベント広場、白河市図書館

○ 内容:「ものづくり体験コーナー」

◇模擬上棟式(餅まき)

◇親子ものづくり体験(木工・だるま絵付け・建設機材オペ体験等)

「販わいづくりコーナー」

◇しらかわ地方の特産品販売

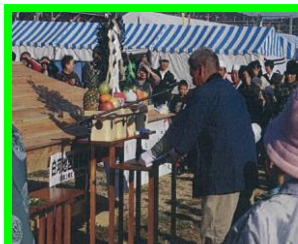
◇市内飲食店によるラーメン・そば等の飲食コーナー



《イベントステージ》



《建築重機オペ体験》



《模擬上棟式》



《会場の様子》

新規事業



うれし、たのし、まち歩き (新たな情報通信を活用した回遊促進)

【事業団体】 財団法人白河観光物産協会（白河市）

【事業内容】 白河駅周辺の図書館、白河駅（えきかふえ）、楽蔵を回遊し活性化を図るため、多くの市民や観光客が訪れる「だるま市」をメインとして「マンガ」を中心としたイベントを実施した。

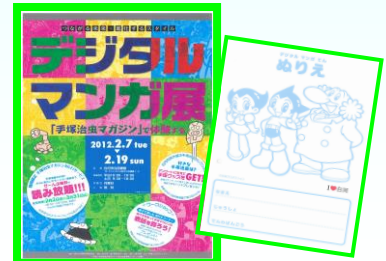
- デジタルマンガ展-「手塚治虫マガジン」で体験する-（白河市立図書館）
 - ◇手塚治虫複製原画 47 点・パネル展示・塗り絵体験他（平成24年2月7日～19日）
 - ◇iPadによる手塚漫画 400 巻無料閲覧（平成24年2月2日～3月31日）
- マンガ家からの応援メッセージ展（えきかふえ、楽蔵）
 - ◇7口のマンガ家から白河へのメッセージ色紙等の展示（平成24年2月7日～19日）



《手塚治虫複製原画展》



《iPad でマンガ閲覧》



《開催チラシ・塗り絵》

新規事業



がんばろう ふくしま in にしごう

【事業団体】 西郷村風評被害対策実行委員会（西郷村）

【事業内容】 県内の農産物及び観光業などの産業に係る風評被害を払拭するため、地元農産物の販売や、地元食材を使った調理実演・試食会を行い、食の安全を訴えるイベントを開催し、風評被害撲滅宣言をした。

- 開催日：平成23年6月12日（日）
- 会場：西郷村 グランドエクス那須白河
- 内容：◇県内農産物等を使った料理提供及びブース出店
 - ◇コンサート芸能コーナー（白羽ゆい・桜金蔵・柳生 博など）
 - ◇自衛隊音楽隊・小学校児童・地元団体等による演技等披露
 - ◇安全宣言及びPR



《イベントの様子》

新規事業



「やぶき復興祭」事業

【事業団体】 「やぶき復興祭」事業実行委員会（矢吹町）

【事業内容】 震災で大きな被害を受けた矢吹町が、周辺市町村とともに、「産業復興」と「心の復興」をめざし、被災した商店の出店による飲食物販売などを通じて、地域が元気になるための「復興祭」を開催した。

- 開催日：平成23年10月22日（土）
- 会場：矢吹球場特別会場
- 内容：特別ゲスト（中畑 清さん・野村 政輝さん）ステージ、アンパンマンショー、サンバショーなど各種イベント、飲食店ブース、地元産野菜直売、フリーマーケット、復興花火、餅まき



《イベントステージ》



《アンパンマンショー》



《サンバショー》

新規事業

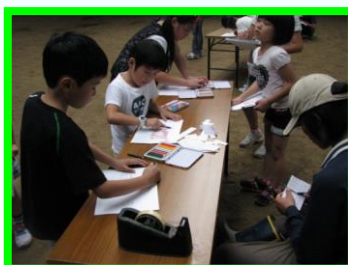


ホースセラピー活用支援事業

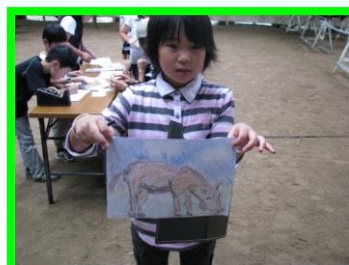
【事業団体】 特定非営利活動法人 元気づくりサポートセンターなんなん福島（棚倉町）

【事業内容】 東日本大震災により長期的に避難生活している子供達や市民の方々に、アニマルセラピーの一種である「ホースセラピー」を実施し、子供の心のケアを行った。

- 開催期間：平成23年9月～平成24年2月までの6回コース
- 対象者：小中学生（参加料金無料）
- 実施場所：ルネサンス棚倉
- 内容：◇乗馬体験&ホースセラピーにより、震災で避難して子供達の心身リフレッシュ効果を図った（延べ820名参加）。
◇避難先の地元住民との交流や、地域振興の情報交換ができた。



《初回は馬の絵を描いたり、馬と触れ合ったりした》



《乗馬体験の様子》

継続2年目



野出島の里づくり

【事業団体】 野出島地域活性化プロジェクト（白河市）

【事業内容】 野出島地域において、耕作放棄地の活用や文化財などの地域資源の活用を通じ、地域活性化を推進すると共に、震災で避難している方々に対して地域情報を提供し、参加誘導して交流拡大を図った。

- 耕作放棄地を活用した「新そば交流会(平成23年11月27日)」
- 野外活動「ホタル探勝会(平成23年6月25日)」
「そばの花を見る会(平成23年9月)」
- 地域資源発見「フォトコンテスト(平成23年7月～平成24年6月末まで作品募集)」
- 史跡探訪「狛犬研究家:たくきよしみつ氏講師による「狛犬見学会」開催
(平成23年12月11日)」



《新そば交流会》

《狛犬見学会》

継続2年目



白柵線が取り持つ“縁”（えにし）事業

【事業団体】 NPO法人表郷ボランティアネットワーク（白河市）

【事業内容】 全国的にも珍しいバス専用路線「白柵線」を活用し、沿線町村の特産品や史跡・名称地をPRするとともに、県南地方への誘客を拡大し、地域の元気につながる事業を展開した。

- 夏だ！元気だ！福幸（復興ふっこう）だ！in 表郷（平成23年8月27日）
サッカー元日本代表岩本輝雄氏のサッカー教室、阿波踊り、特産品販売、屋台他
- ドレスアップカーin 表郷（平成23年11月6日）
ドレスアップカー展示会、白柵線沿線町村の特産品販売、白柵線写真展示他
- びゃっこいの里ファミリーウォークin 表郷（平成23年11月6日）
日本唯一のバス専用路線（縁（えにし）の白柵線）を歩くイベント



《サッカー教室の様子》

《ドレスアップカー展示》

継続2年目



しらかわ地方“もてなしの心”発信事業

【事業団体】 県南地方魅力発見隊（白河市）

【事業内容】 県南地方の伝統的な郷土料理を発掘し、それを「地元食」として仕上げ、観光客の誘客につなげる地域おこし活動を行った。

- 旧しらかわ12市町村の伝統料理を発掘・再現（1年目の事業）
- 伝統料理試食会開催

開催日：平成24年3月14日（水）

会場：ホテルサンルート白河（約100名出席）

内容：本陣の夕食膳（旧白河市）、キジ丼（矢吹町）、こんにゃくの煮物（埴町）、婚礼膳（旧表郷）、精進料理などの試食会

- 試食会アンケートを元に、地域おこしにつながるメニュー商品の開発
- 奥州ふるさと弁当（仮称）試作、伝統料理復刻集の作成（2,000部）



《試食会の様子》



《伝統料理復刻集》



《奥州ふるさと弁当（仮称）》

継続2年目



国道289号沿線広域観光交流事業

【事業団体】 特定非営利活動法人 元気づくりサポートセンターなんなん福島（棚倉町）

【事業内容】 国道289号沿線市町村の観光・物産情報をホームページ「GO!GO!289」で発信・紹介しながら、震災で激減した観光客の誘客や、企業・団体などの風評被害・地場産業復興のためのキャンペーン活動を行った。

- 「GO!GO!289」ホームページの情報発掘・調査・更新・運営
- 農産物・6次化製品風評被害払拭キャンペーン、復興応援イベントなどに出展
 - 平成23年 6月 5日 「第1回歌舞伎町アートマーケット」（東京都新宿区）
 - 平成23年 9月10日 「がんばろうふくしま！」inみぶハイウェイパーク」
 - 平成23年10月16日 「きよせ市民まつり」（東京都清瀬市）
 - 平成23年10月22日 「戸田市商工祭」（埼玉県戸田市）
 - 平成23年11月5日・6日 「ごちそうふくしま満喫フェア2011」（福島市）
 - 平成23年11月23日 「日本一遅い？山開き」（白河市表郷天狗山）



《「GO!GO!289」HP》



《キャンペーンの様子》





町なかコミュニティ三世代交流事業

【事業団体】 棚倉町第二行政区自治会（棚倉町）

【事業内容】 棚倉町第二行政区は、少子化と同時に高齢者の一人暮らし増加という課題がある一方で、三世代同居世帯が多いという特徴があるため、様々な行事を三世代で取り組み、地域の行事として継承し世代間で交流することにより、高齢者の介護予防、また、地域の伝統・環境に関心を持ち、他人に対する思いやりの心を持つ子供達を育成することを目指した。

今年度は、震災で避難している方々を交えた交流盆踊りも開催した。

- 地域サロン（消火講習会・餅つき・健康講座など計5回、合計180名参加）
- 三世代清掃ボランティア活動（計3回、合計400名参加）
- 花いっぱい運動（平成23年6月24日、役員20名参加）
- お寺のラジオ体操（平成23年7月23日～31日、130名参加）
- 水辺の教室の開催（平成23年8月7日、80名参加）
- 交流盆踊り（平成23年8月7日、250名参加）



《消火講習会》



《健康講座》



《三世代清掃》



《お寺のラジオ体操》



《交流盆踊り》

継続3年目



天狗山(遊々の森)を使って 体も地域も生き生きにしよう

【事業団体】 おもてごう里山クラブ (白河市)

【事業内容】 白河市表郷にある「天狗山」を活用し、地域の小学4年生を対象とした「1/2成人式」と「日本一遅い?山開き」を開催するとともに、風評被害等で打撃を受けている地域農産物の直売を行った。

- 1/2成人式 (平成23年9月11日、小学生他134名参加)
記念植樹、成人証書授与等
- 日本一遅い?山開き (平成23年11月23日、150名参加)
- 登山道の整備と管理



《1/2 成人証授与》



《記念植樹》



《登山道整備の様子》



《山開きチラシ》

継続3年目



奥州街道やぶき軽トラ市事業

【事業団体】 やぶき軽トラ市実行委員会 (矢吹町)

【事業内容】 空洞化する中心市街地に賑わいを創出するため、軽トラックや軽ワゴン車・軽自動車で、農産物や工芸品、飲食物などを販売する「奥州街道やぶき軽トラ市」を開催した。

- 会 場: 矢吹駅西側(旧奥州街道、約400m)
- 日 時: 毎月第3日曜日、8時~11時15分
- 実施回数: 計6回(7月~12月)
- 参加店舗: 月平均25店舗



《広告チラシ》



《軽トラ市本部》



《軽トラ市の様子》



《H23.6 震災復興ミニコンサート》

新規事業



はなわのダリア一大産地確立プロジェクト 東日本大震災復興キャンペーン 「がんばろう ふくしま ・ がんばろう はなわ」

【事業団体】 埴町ダリア切花生産等推進協議会(埴町)

【事業内容】 「はなわのダリア」の一大産地化を目指し、ダリアの切り花の産地形成による農家所得の向上と、イメージアップによる後継者育成の活動をした。また、ダリアPRと併せて、東日本大震災復興キャンペーンに参加して、「ふくしま」の農産物等の安全性についてのPR活動を行った。

- ダリアの芽から球根化する手法確立のための講習会
- 先進地視察(2回)
- 県内外へのダリアPR&震災復興キャンペーン(8回)



《栽培講習会》



《栃木県王生ハクワイバントPR》



《池袋ハクワイダリアの華展》

《タペストリー》

継続2年目



100年の鼓動！ 甞れ風呂山公園事業

【事業団体】 埴町観光協会(埴町)

【事業内容】 埴町の中心街にある「風呂山公園」が、平成24年に植樹満100年を迎えることから、震災復興のアピールも兼ねたPRイベント実施に向けて、風呂山公園の整備とイベントPR準備事業を行った。

また、訪れた観光客には震災復興を広くPRした。

- 広告宣伝活動(ポスター・チラシ作成)
- 挿し木育成(苗木330本、6月から10ヶ月間)
- ヤマツツジ再生整備・管理



《挿し木育成状況》



《竹粉散布作業》



《つつじ祭りチラシ》

継続2年目



共生のまち・はなわ 寺西八カ条プロジェクト事業

【事業団体】 埴町婦人会（埴町）

【事業内容】 第23代埴代官「寺西重治郎封元」の「寺西八カ条（儒教の五輪五常の徳目を分かりやすく説いた）」を基軸として、子育て支援、青少年の健全育成と家庭教育の充実、高齢者の見守り、外国人妻および家族との交流活動等、安全・安心な地域の生活を守る諸活動など地域力の向上・充実を図った。

- 「寺西八カ条」立看板パネル設置（5箇所）
- 八カ条創作民話「代官さまとおサトちゃん」紙芝居製作
- 子育て・高齢者・大震災被災者支援のための活動
- 子育て支援フックスタート事業（赤ちゃんへの絵本プレゼント、60人）



《「寺西八カ条」パネル設置》



《「代官さまとおサトちゃん」紙芝居》



「このように、地域に根ざり、正統に継承されている文化の
家系は、新しいお代官様のおかげで、元気に蘇り
のちを待っています。」

継続3年目



人いきいき・街きらきら活性化事業

【事業団体】 人いきいき・街きらきら活性化実行委員会（埴町）

【事業内容】 地域の踊り「埴音頭」を子供達などに教え、毎年開催している「埴流灯花火大会」時に、町民が一体となって踊り流しを行うことで、街なかに賑わいを創出した。また、お盆や年末に、街なかにイルミネーションの飾り付けや、クリスマスイベントなど行い、商店街への誘客も含めた賑わいの創出を図った。

- 流灯大会での踊り流しの拡大
 - ◇ 踊り流し講習会開催（13団体）
 - ◇ 埴流灯花火大会・踊り流し大会（平成23年8月15日、踊り流し参加者 250人）
- 街なかイルミネーション
（夏：平成23年8月1日～31日、冬：平成23年12月1日～平成24年1月31日）
- クリスマスイベント開催（平成23年12月22日）



《踊り流し大会の様子》



《イルミネーション点灯式》



《クリスマスイベント》

新規事業



「大豆パワーで強い絆(きずな)づくり」事業

【事業団体】 深渡戸町内会（白河市）

【事業内容】 深渡戸地区は、長らく水稻を主生産物として農家経営を行ってきたが、米の生産調整などにより、大豆の生産を始めて10年が経過した。こうした中、大豆の出荷のみによる販売額の伸び悩みから、ここ数年は豆腐や納豆の委託加工による直売を実施してきたが、お得意様の増加による販売収入の安定化が見込めるようになったので、加工による収入の更なる向上を目指すため、地域づくり計画策定に取り組んだ。

- 加工に関する視察(平成23年11月22日、山形県山形市、加工機械と試作品視察研修)
- 試作会(平成23年12月18日、簡易豆腐製造機の実演)
- 味噌作り研修(平成24年3月25日、栃木県那須町)



《山形市への視察研修》



《簡易豆腐製造機試作》



《味噌作り研修》



《完成した「深渡戸味噌」》

継続2年目



「元気な下手沢柿(かっき)づくり」事業

【事業団体】 下手沢区（棚倉町）

【事業内容】 地区内に多く存在する耕作放棄地の再生を図るため、柿等を植栽し農地再生を図りながら収穫物販売等による収益化を目指し、地区全体で肥培管理等の作業に取り組むことや、住民が気楽に立ち寄り交流できる場の設置を検討するなど、失われつつある地域内のコミュニティの再構築を行った。

- 耕作放棄地復元(35a)
- 柿等植栽(35a)・肥培管理(72a)
- そば栽培(10a)
- 集会所の開放(通年)
- PR看板設置
- 盆踊り(8月)
- 収穫祭(12月)



《柿畑の除草》



《柿の植栽》



《PR看板》



《そばの収穫》



《収穫祭の様子》

継続2年目



緑のふるさと協力隊を活用した 都市交流によるコミュニティ再生事業

【事業団体】 鮫川村（鮫川村）

【事業内容】 鮫川村は、農山村に興味のある若者を、地域活性化を目指す地方自治体へ一年間派遣する「緑のふるさと協力隊」を受け入れ、村内の各集落での農業体験や教育旅行、地域交流事業を展開するための体制整備を行い、地域コミュニティの再生を図った。

- 地域資源の発掘
- 資源調査のデータ化
- 体験指導者養成
- 交流事業計画（大学10回、一般15回）
- 教育旅行などの受け入れ体制整備・地域コミュニティの再生



《大学生の農業体験》



《作業の様子》



《喜多方での研修》



《活動報告会/交流会》

継続3年目



矢塚地区観光開発整備事業

【事業団体】 矢塚区（埴町）

【事業内容】 片貝小学校矢塚分校裏山の国有林 1.55ha について杉の伐採が行われた後を受け、区と棚倉森林管理署が協定を結び、この場所を「矢塚希望の森」として整備することで、地域の新たな観光資源、地域の子供の教育の場とした。

- 広葉樹・花木の里山整備
 - ◇ 花木等の植栽
 - ◇ 里山の除草
 - ◇ 里山用東屋設置
- 「矢塚希望の森」樹木・花木等の植樹及び植樹体験
(平成23年6月5日、参加者33人、内小中学生15人)
- 交流イベント（平成23年9月17日、第24回やまめつり・つかみどり大会）



《植樹体験》



《やまめつり・つかみどり大会》



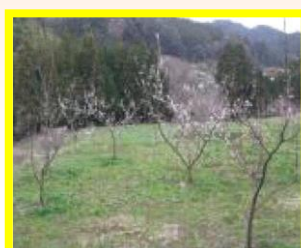
《東屋設置》

あんずの里づくり整備事業

【事業団体】 真名畑区（埴町）

【事業内容】 以前こんにゃく栽培を行っていた山あいの急傾斜地の農地が、高齢化に伴い耕作放棄地として増えていることから、ここにあんずを植栽し、遊歩道などを整備することで観光資源としての活用を図り、また、あんずの実の加工による特産品開発などを行いながら、「あんずの里」づくり集落住民協力して集落活性化に取り組んだ。また、地区内の景観整備を行い、観光客の誘客ができる地域としてアピールできるよう活性化を図った。

- あんず団地の管理（草刈・消毒・施肥・剪定など、計6回）
- 運搬機・噴霧器等の設置
- 新品種あんずの植栽



《あんず団地》



《草刈・消毒・施肥作業の様子》



《剪定作業》

継続3年目

水源の里 富田地区地域再生事業

【事業団体】 富田行政区（鯨川村）

【事業内容】 恵まれた自然環境や伝統文化、歴史遺産などの地域資源を活かして、コミュニティ活性化に向けた事業を実施した。

- 交流事業（平成23年7月10日、「ハッチョウトンボ観察会」開催）
- 伝統文化継承事業（平成23年8月27日、「八朔豊年踊り」開催、記録DVD制作）
- 特産品開発事業（観光梅園整備、梅剪定・栽培研修、梅・しそ加工研修）
- 里山公園整備事業（菅生館にドウダンツツジ20本植栽）
- 高齢者支援事業（一人暮らし高齢者宅へ毎月の訪問活動、「元気だより」配布、花苗プランター配布、年賀状送付など実施）



《ハッチョウトンボ観察会》



《保存用記録DVD》

《八朔豊年踊り》《梅加工品研修会》



《ドウダンツツジ植栽→》



《花鉢配布》

